

第9回大学教育改革フォーラム・プログラム

テーマ『高等教育における教育改革と経営改善』

【主旨】大学教育改革フォーラムは、今回で9回目になります。これまではおもに、授業改善や学生評価など教育改革の具体的な中身について議論してきました。今回は、改革の中身ではなく改革をとりまく条件の方に焦点づけて、討論したいと考えます。

高等「教育」の抜本的改革を求める大衆化と少子化という巨大な変動は、まだはじまったばかりです。ところが最近の大学改革の動きでは、ともすれば制度・組織改革のほうへ関心が集中しており、とかく「教育」改革という初心が忘れられがちです。この間に、我が国の高等教育機関は、組織運営の重点を「経営」におく経営重点大学、「教育」におく教育重点大学、「研究」におく研究重点大学に鮮明に分かれてきているようにみえます。しかし経営重点大学であれ研究重点大学であれ、その運営について幾分長いレンジで合理的に考えるなら、いずれ教育改善に焦点を置かざるをえないのではないのでしょうか。

本フォーラムでは、国立大学や私立大学の経営に実際に携わっておられる方々の話題提供をてがかりにして、高等教育における経営と教育改善の関連について、参加者全員で多角的に討議したいと考えます。

司会：荒木光彦（京都大学高等教育教授システム開発センター長）

13:30～13:35	開会の辞	
13:35～13:45	挨拶	長尾 真（京都大学総長）
13:45～13:55	問題提起	田中每実（京都大学高等教育教授システム開発センター・教授）
13:55～14:20	話題提供1	野々村昇（長崎活水女子大学・学長）
14:20～14:45	話題提供2	道上正規（鳥取大学・学長）
14:45～15:10	話題提供3	濱名 篤（関西国際大学人間学部・教授）
15:10～15:35	話題提供4	赤岡 功（京都大学前副学長・経済学 研究科・教授）
15:35～15:45	休憩	
15:45～16:00	コメント	本間政雄（京都大学事務局長）
16:00～17:00	質疑応答	
17:00	閉会の辞	

これまでのテーマ

- 1994年・第1回「日本の大学をどうするか」
- 1995年・第2回「これからの大学はどのような人間の育成を目指すのか」
- 1996年・第3回「大学教育の個性化をどう進めるか」
- 1997年・第4回「これからの教養教育をどうするか」
- 1998年・第5回「大学授業をどう変えるかー研究から実践へ」
- 1999年・第6回「FDをどう組織化するかー相互研修の共同体に向けてー」
- 2000年・第7回「大学教員の教育能力をどう開発するか」
- 2001年・第8回「大学教育評価をどうするかー評価からFDへー」